

大阪府立大学にて第 123 回触媒討論会開催

2019年3月20日（水）から2日にかけて大阪府立大学杉本キャンパスにて、第123回触媒討論会が開催されました。特別講演、口頭発表、ポスター発表の他、特別シンポジウムも開催され、2日間で600名を超える参加者があり、触媒化学に関わる活発な討論が繰り広げられました。今回の触媒討論会で、天尾豊 人工光合成研究センター所長は実行委員長を務めました。



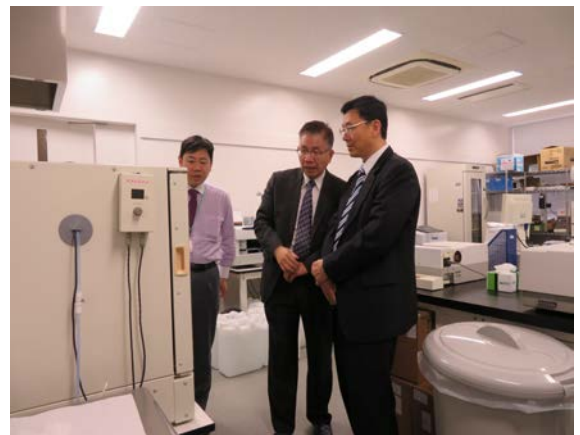
また特別講演では、「人工光合成研究拠点」の事業者でもある神谷信夫 前人工光合成研究センター所長が「光合成で働く光化学系II・酸素発生クラスターの構造とMn原子の価数」と題し、光合成の酸素発生サイト解明に関する最新の研究成果を披露しました。



神谷信夫先生

台湾国立中央大学による大阪府立大学人工光合成研究拠点見学

2019年3月25日（月）に、台湾国立中央大学の周景揚 学長と許協隆 国際事務長が人工光合成研究センターを訪問しました。低温室や生化学実験室を見学した際には、お二人は特に光捕集アンテナに関心を示され、天尾所長から説明を受けていました。また高度分析装置利用状況等も熱心に質問していました。



見学の様子

人工光合成研究拠点では、当研究センターに関するお知らせや見学会・講演会開催の案内など、最新情報をホームページやFacebookに掲載しています。是非チェックしてください。

人工光合成研究拠点 ニュースレター

第3巻・第12号平成31年3月27日発行

発行責任者：天尾 豊（大阪府立大学人工光合成研究センター所長）

編集責任者：吉田朋子（同副所長）

<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>